

# 流山市市民参加推進委員会の評価シート

対象事業名	公共施設等総合管理計画
担当課	財産活用課

## ① 市民参加の方法の選択について

パブリックコメントの選択は評価するが、意見が0件だった結果を見ると効果面で若干疑問が残る。意見交換会等の他の選択を考慮しても良かったのではと思われる。

市民参加の手法としては、2種類を選択したことは問題はないが、施設利用者でないといけない点もあることから、回答者が利用者へ偏ることは気にせず、市民の意見を集める手法として施設利用者へのアンケート調査を選択するべきではなかったか。

### 《各委員からの意見》

- ・公共施設の問題は広く多くの市民の声を聞く必要があるため、審議会とパブリックコメントを選択したのは妥当と考えるが、その結果、パブリックコメントの件数が0件であったという点は重大である。概要版も作ったようであるが、何か工夫が必要だったのではないか。
- ・本事業は、公共施設そのものの在り方のみでの狭い意味で捉えるのではなく、流山市の「まちづくり」を進める中で、公共施設をどのように位置づけるのかという視点を持つことが大切である。その意味では、審議会、パブリックコメントに加え、当初予定していた意見交換会等の方法も加味すべきである。
- ・当該計画は、流山市が保有する公共施設総量が全国平均の「半分の特長」を骨子としているが、その「半分」という特長は、行政サービスが他市に劣後と受け止められないか等々「半分の特長」の意味や理由の情報提供も曖昧のままパブリックコメントを実施し、結果は0件に終わっている。「半分の特長」の理由や活かす計画について市民との直接対話でより具体的に意見交換し理解を深める取組姿勢が必要であったと史料する。

## ② 市民参加の方法のスケジュールの妥当性について

市民の関心事である住環境の事業計画に適応した審議会開催の頻度やパブリックコメント実施日程との連動等実行性のある適切なスケジュールとは言い難い。

審議会への諮問から答申への期間が2ヶ月と、他の事業に比べても短いと感じた。

### 《各委員からの意見》

- ・検討する時間が十分にあったにもかかわらず、審議会は諮問と答申の2回のみ、その間にパブリックコメントを実施しており、あまりにタイトなスケジュールで、市民参加を意識したものとは思えない。
- ・国に対する市の提出期限が平成28年度中ということであれば、十分な検討期間があり、パブリックコメントや意見交換会等ゆりのあるスケジュールで実施が可能ではなかったのか。
- ・審議会での審議時間がやや短かったようにも思われるが、専門性の高い内容であり、長時間の議論が必ずしも必要とは思われず、妥当と考える。

## ③ 事業の内容や市民参加の仕組みに対する市民等への情報提供について

概要版をホームページに掲載するなど工夫した点は評価するが、本委員会の委員でも内容に関して意見や質問が出るほど市民に内容の浸透が見られていなかったのは、情報提供に何らかの問題点があったことを示唆している。市政の今後に関わる大切な計画であるため、広報で内容を周知する共に意見交換会で、市民の幅広い意見聴取を行い理解と賛同を得ながら進めてもらいたい。

### 《各委員からの意見》

- ・流山市が保有する施設総量が全国平均に比べて低いという流山市の特徴が、良いことなのか悪いことなのか等分かりやすく説明（情報提供）したら、パブリックコメントが0件などということにはならなかったのではないか。
- ・計画が公共施設全般に亘っており、概要版を見ても分かりづらい。一つの方法として、全体像とともに、いわば各論編として、学校や公民館などの主要な公共施設に的を絞った情報提供の工夫を検討すべきではなかったか。
- ・パブリックコメント結果が0件だったことは十分に施策が市民へ理解されていないためであり、審議会の内容も市民へ行き渡らず情報提供が不十分であったのではないかと考える。

## ④ 改善点について

### 《各委員からの意見》

- ・市民全体の意見を聞くためにある手法をとるべきであり、やっても無駄ということはない。そのため、パブリックコメントやアンケート調査等市民の声を幅広くいろんな立場の方から拾い上げる手法を検討すべきである。
- ・公共施設に関する事業は、利用者だからこわかること、普段利用している市民に意見を聞くことも大事である。意見が偏ることを恐れるより、意見が集まらないことを恐れるべきではないか。
- ・インパクトのある数値を提示して一般市民に意見を求める場合は、客観的、科学的な説明責任が前提であることを十分に認識されたい。
- ・公共施設に関する経営面からの考え方をさらに機会を得て公表し市民の理解を得るようにすることが重要と考える。
- ・市民参加を意識したスケジュールをしっかり立て、市民が市政を理解できる機会を作るとともに意見聴取を行い、より良い市政を市民と共に実施していかれるよう改善されたい。

## ⑤ 当該事業の評価について

A -	+ B -	+ <b>C</b> -	+ D -
-----	-------	--------------	-------